

東京

「其の日」暮らし

＝ドイツ編＝



(スーリーの結婚式) サプライズで押しかけても大丈夫？

先日、結婚式に行ってきました。とはいえ正式に招待を受けたわけではありません。息子の大好きな幼稚園の先生スーリー（ドイツでは先生でも名前で呼びます）が結婚をするので「サプライズでお祝いに行きましょう」という手紙が回ってきたのです。招待されている同僚の先生が発起人です。「サプライズで行っても迷惑にならないのかなあ」と思いつつ下調べを開始しました。教会の場所は、西隣にあるレオンベルグ市です。我が家はシュトゥットガルトの西郊外にあるので地図で見るとそんなに遠くなさそうですが、これは車で行く場合のことです。車を持っている人が多いドイツ。周りの友達も「あーあそこは20分くらいで着くよ」とか簡単に言ってくれますが、我が家は車がないのでバスか電車で移動になります。時間を調べてみるとルートは2通りありました。一つは電車でレオンベルグまで行きそこからバスに乗る方法。これは一度街まで出るのでグルッと迂回する事になり一時間以上かかります。もう一つはバスで行く方法。これはいつも使うバスの西はずれにあるバス停から直線的に移動することができ、時間も30分ほどで着きます。便利ないように見える後者ですが、土曜日のためバスは一時間に1本。集合時間と同じ時刻にバス停に到着というギリギリプラン。行く気マンマンの息子とどんどん行く気が萎える私。しかも当日の天気予報は雨。私は普段、誘ってもらったらほとんどの行事や遊びに参加しますが、今回ばかりは調べれば調べるほど「やっぱりやめとこうかなあ」という考えがが頭をもたげてきました。が、ドイツ人の結婚式なんてそうそう行けることでもない。好奇心に負けて参加することにしたのです。当日は遅刻はするよりは良いと1本早いバスにのって1時間前に到着。教会の場所を見てから近くのカフェにはいってお茶でもしようかと軽く考えていたのですが、甘かった。ここは私たちの住む町よりもこぢんまりしたイナカであることを忘れていたのです。私たちの住む町は郊外ですが土曜日は小さい店でもあいていますが、小さい町では2時以降は店を閉めてしまうのです。雨の降る中ウロウロとしてようやく営業してるレストランを見つつけちよっと休憩。一息入れ



ていざ教会へ。晴れていたら入り口で先生を迎えてサプライズだったのでしようが、あいにくの雨のため、ホールに入って順番にお祝いを伝えるという形になりました。ホールには招待客やお祝いをしに来た人のためにシャンペン、ソフトドリンク、クッキーなどが用意されていました。招待をされていなくてもお祝いを言いに来ても良いというオープンなところが「ドイツやねなあ」と思いました。もちろん花嫁さんはともきれいでした。

PUKI・PUKI・N

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株) ファッションビジネス・御堂筋新聞